



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

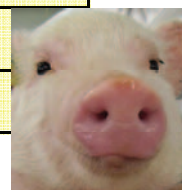
URL: <http://www.nbr.co.jp/>

NBRの医療機器試験 — 埋植試験 —

NBRでは、お客様のご要望に合わせて、ミニブタを始めビーグル、ウサギなどを用いて多種多様な形態の医療機器を様々な場所へ埋植する試験を行ってまいりました。

大型動物を用いる埋植試験では、手術手技、術後の管理など数多くのノウハウが必要です。NBRは高い技術力と目的に対応した創造力でご要望にお応えします。

	埋植箇所	使用動物
臓器埋植	各種器官、肝臓、前立腺など	ミニブタ、イヌ
骨埋植	頸椎骨、腰椎骨、四肢骨、顎骨など	ミニブタ、イヌ、ウサギ
筋肉埋植	背部筋肉など	ウサギ
皮下埋植	背部皮下など	ウサギ



主な試験方法

- 医療機器審査No.36: 主にウサギの背部筋肉に医療機器(または被験検体)を埋め込み、局所的な影響を肉眼及び組織学的に評価します。
- ISO-10993-6: 適切な部位および動物種に対して医療機器の埋め込みを行います。
- 有効性試験: 豊富な経験でイヌ、ウサギに加えてミニブタの臓器や器官、骨などに医療機器を埋植し安全性、有効性の検討が可能です。

必要に応じ、予備検討から実施することが可能です。まずはお問い合わせください。



お知らせ

HS財団の動物実験実施施設認証を取得しました!

財団法人ヒューマンサイエンス振興財団の“動物実験の第三者認証”を羽島研究所および修善寺試験室同時取得(2011年3月28日)しました。民間のCROとしては初の認定となります。この認証を機として更なる動物愛護・福祉への姿勢をもって事業に取り組んで参ります。皆様の一層のご理解とご支援をお願いします。

東日本大震災に対する試験受託支援事業のご案内

— 震災の影響でお困りではありませんか —

この度の東日本大震災により被災されました皆様方には心からお見舞いを申し上げます。物心両面で一日も早く回復されることを心から祈念申し上げます。

さて、関東、東北地方一円では、施設の倒壊、破損、ライフラインの停止、計画停電などにより通常業務に影響が出ていることと存じます。皆様方の会社業務、特に動物試験業務への影響はございませんでしょうか。

動物試験の開始や継続の目処が立たないなどお困りでしたら、是非一度ご連絡下さい。何かお役に立てればと考えております。

【連絡先】

(株)日本バイオリサーチセンター

電話:058-392-2431(営業窓口:業務企画部直通)

058-392-6222(会社代表電話)

ホームページ:<http://www.nbr.co.jp>

『お問合せ』→『nbr』にアクセスしていただき、お問合せフォーマットに入力後、『送信』して下さい。

【弊社の特徴】

弊社はGLP下での安全性試験の他に、薬効薬理試験モデルは中枢試験から末梢試験に至る250種類余の試験種類を有し、探索、創薬、開発の各段階での試験に対応できる事を特徴にしています。当社はこうした特徴を生かし、この震災でお困りの会社の試験業務にお役に立つことで、この緊急時に貢献できればと考えています。

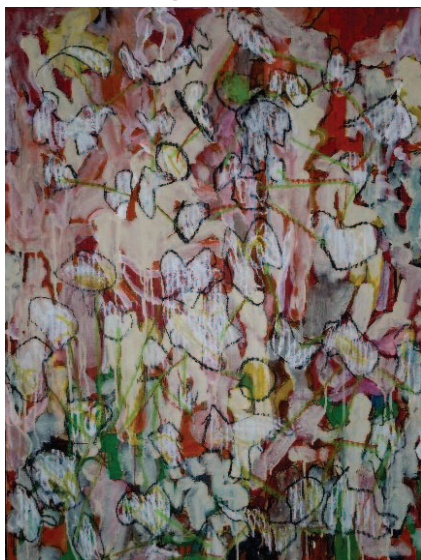
佐部利 典彦のアートギャラリー(43)

岐阜県出身(1969~)

タイトル : between heaven and ground

作者の言葉

絵の奥に抽象的な人のかたちが無数にあり、手前は植物です。人は何かあると花をたむけます。人と花の間にドラマがあります。そんなダブルイメージです。



『心の絆 - その43 - 』

3月11日、私たちはかつて経験したことのない東日本大地震に襲われました。死亡者と行方不明者を合わせると2万5千人を超えていますし、津波による被害は地方の市町村の再生への設計図が描けられないような甚大なものです。原子力発電所事故による放射線漏れは将来の健康被害まで引きずる不安材料になろうとしています。こんな時こそ、国民一人ひとりの英知と心の温もりを集め、物心両面で助け合う人の絆を再確認する機会にしたいと思います。

今回の災害は人の力では及ばない想定外の自然災害だったという声をよく耳にしますが、そもそも、自然と人と同じ土俵上で対比すること自体に問題がないでしょうか。即ち、人も自然の一部であるということです。それも、ほんの僅かな一部です。宇宙の単位から見れば、人は塵(ちり)にも及ばない程度のものです。人は地球上で最も高次能力を有し、学問や科学の進歩などという言葉を借りて、自然をコントロールし管理できるような驕り(おごり)に近い気持ちを持ち、その姿勢は年々増長していないでしょうか。今回の地震災害は人に自然への強い畏敬の念を持つ姿勢を教示しているように思えます。